

令和5年度 発達支援室kodomo本郷台教室
事業所自己評価シート

保護者による評価

A環境面

- ・ 入口まで急な階段なのでヒヤヒヤする。
- ・ 階段は気になるが手すりはある。真ん中にてすりがあってもよい。
- ・ 配置・専門性：一人一人に配置されているように見えるが、専門性はわからないので気になる。→保護者会だけでなく、紙面等でも、保護者の皆さまにお伝えできるよう工夫していきます。

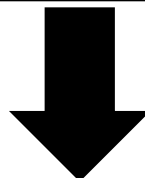
B児童への支援内容

- ・ ペアトレ：参加したがとても良いトレーニングだった。本人に対して優しくなれた。
- ・ お迎え時にも助言してもらっている。
- ・ 児童館等との交流：必要性を感じないのでそれで満足。
- ・ 寄り添っていただき、感謝しかない。
- ・ 子どもの特性に合わせた個別の支援内容で支援いただきとてもありがたい。
- ・ 人との適切な関わり方を学べたり自己肯定感の向上ができてありがたいと思う。
- ・ 温かい先生達ばかりで本人にとって安心できる大切な場所。
- ・ 子どもの通所の様子から毎週とても楽しんでいることがわかる。
- ・ HPを見るとWISCの検査を受けられるような記載があるが、受けたことがなくそのような話が出たこともない。
→新版K式とWISCの検査については、スクールカウンセラーからの要望や必要に応じてお受けしています。
- ・ 学習の日と決めている日に、学習をせずに帰ってくることも多い。
→個人に合わせた個別課題を設定して、少しずつできることを工夫していきます。
- ・ 怪我・事故などなくきめ細かい目で丁寧に見ていただき安心して利用できている。

C事業所からの情報発信

D非常対応

- ・ 各種マニュアルについて周知・説明
「わからない」との回答 児発27.3% 放デイ14.3%
- ・ 避難訓練は定期的に行われているか
「わからない」との回答 児発27.3% 放デイ10.7%



事業所内での分析

【共通点】

- ・ 階段には十分気を配ってきているが、安全性を高めるにはまだ工夫や改善の余地がある。
- ・ 子どもに寄り添い、比べる事ではなくその子はその子であるという関わりを大切にしている。
- ・ 一人ひとりの個別性を大切に、得意なことを伸ばすことに力をつけられるようにしている。
- ・ 毎週楽しみに通所している子がほとんどである。
- ・ HPなど普段の様子を伝えられるようになるといい。（避難訓練なども様子を知りたい）
- ・ 避難訓練をもっとわかりやすく頻度・実践的な訓練を周知する必要がある。
- ・ 安心して過ごせる場である。

【相違点】

- ・ 学校や幼稚園との連携は進めていくが、児童館との交流に必要性を感じない方も一定数おられる。

分析・検討してみた

事業所の強み

- ・ 異年齢で交流できて長く通える。
- ・ スタッフの優しさと明るさで家庭的な雰囲気がある。
- ・ 一人ひとりの個性を大切にし比べない。
- ・ 子どもが楽しそうに通うことで、‘子どもの幸せ’って何かを考えるようになってきた。
- ・ 支援者としてできないこと、苦手なことをわかってあげる共通理解が必要。
- ・ 自分の苦手を理解することも大事、できないことをどうしたらよいかを一緒に考えることも療育

事業所の改善点

- ・ 施設の安全性を高める工夫。
- ・ 施設の様子等を発信する力。
- ・ 避難訓練のより実践的な訓練。

事業所の改善への取り組み

多くの方々にアンケートにお答えいただき誠にありがとうございました。頂きましたアンケートは真摯に受け止め話し合いを重ねながら、今後の検討課題として取り組みをしていきたいと思っております。

- ・階段の昇降の安全性については、滑らないように床面に滑り止めを設置しております。更に滑り止めの面積を増やしていきます。また降りるときは時間に余裕とスタッフ全体で安全に降ろすことに集中、集約する。幼児はひとりひとり手をつなぐ、小学生低学年を中心に、スタッフの階段見守りと手すり側を歩くように指導する。滑り止め、照明、階段に反射テープを増やす等、安全を心がけていきます。
- ・施設の様子を発信することに関しては準備は進めております。お待ちください。
- ・従業員については、心理士・言語聴覚士等の有資格者を配置しております。保護者会だけでなく、紙面等でも、保護者の皆さまにお伝えできるよう工夫していきます。
- ・避難訓練に関しては年間計画を策定しております。今年度もカリキュラムで緊急時対応の練習に加え、より実践的な訓練をし、その様子を皆様にお伝えできたらと考えております。
- ・新版K式とWISCの検査については、スクールカウンセラーからの要望や必要に応じてお受けしています。
- ・学習に関しては、学習に向き合う力からつけなければならないお子さんもおり、個人に合わせた個別課題を設定して、少しずつできることを工夫していきます。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

多くの方からご回答をいただきましたアンケートは、職員で共有いたしました。安全性は最も重要なことであり、ミーティングでも常に議題に上がることです。職員で知恵と工夫を盛り込みながらこれからも進めて参りますので、お気づきの点がありましたらお知らせください。

子どもたちの社会性を育むには多くの経験と時間が必要です。kodomoで育つ子はたっぷりと時間がかかっています。安心して自分の意見を持ち、人に伝えることができるのは決してたやすいことではありません。小さな失敗も気にせず前に進んでいける逞しさをいつの間にか身につけることができます。好きなこと得意なことって何だろう?! ！いつもスタッフのアイデアが湧きます。だから来ていてとっても楽しいのだと思います。

またたくさん感謝の言葉や温かい励ましの言葉をいただきました。お子様を社会の中で一緒に育てていくお仲間としてお手伝いできていましたら、これほどうれしいことはありません。これからも皆様と一緒に 悩み、笑い合えることができるKodomo本郷台でありたいとスタッフ一同思っております。